

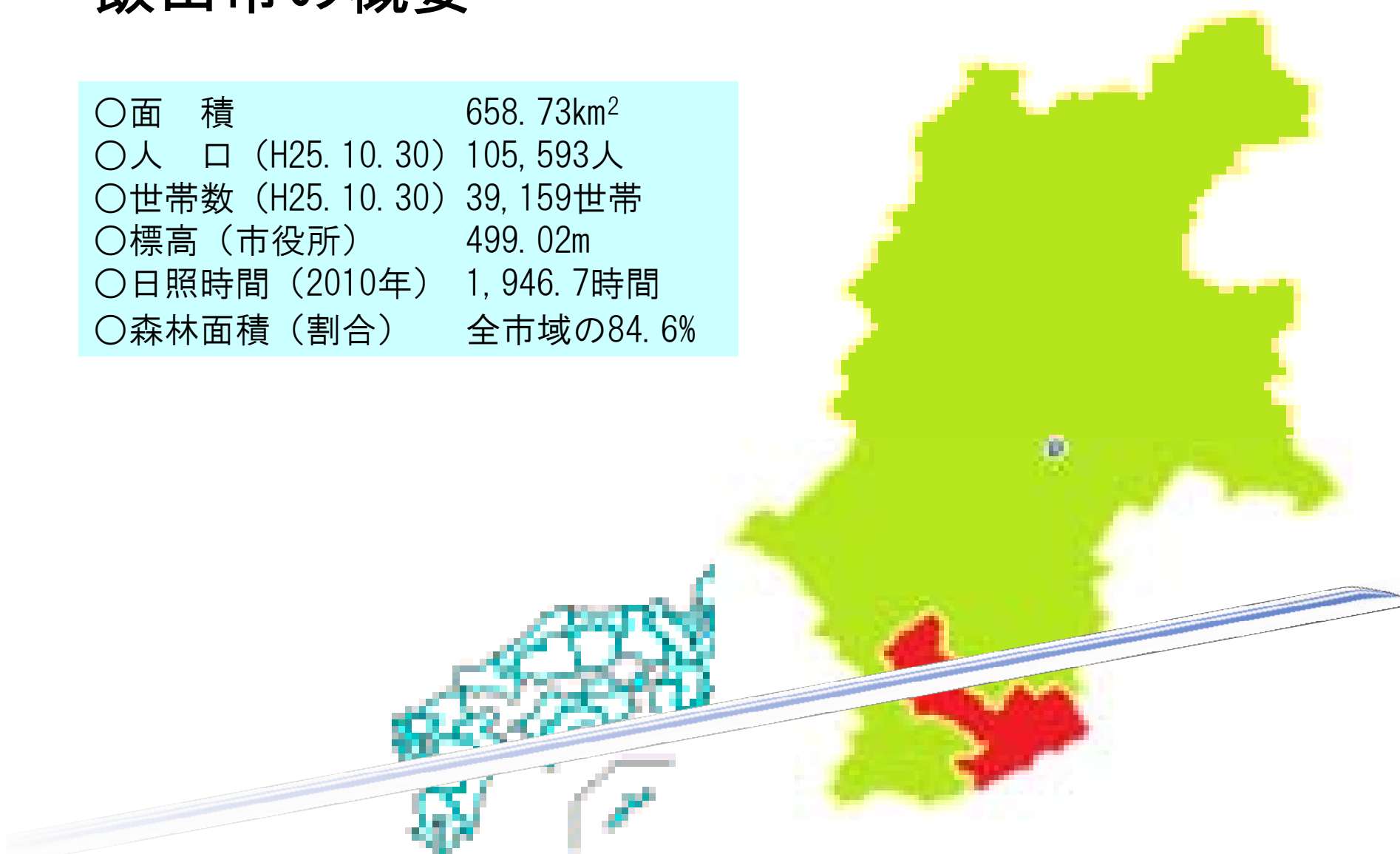
公民館活動から共生社会を目指す ～地域で支える日本語教室～

長野県

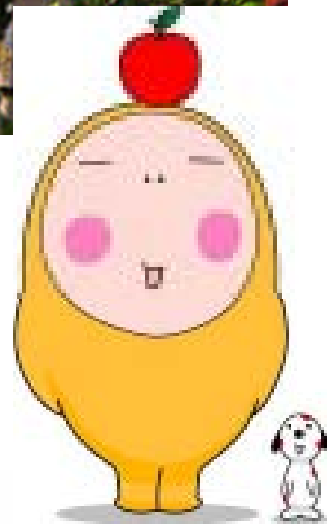
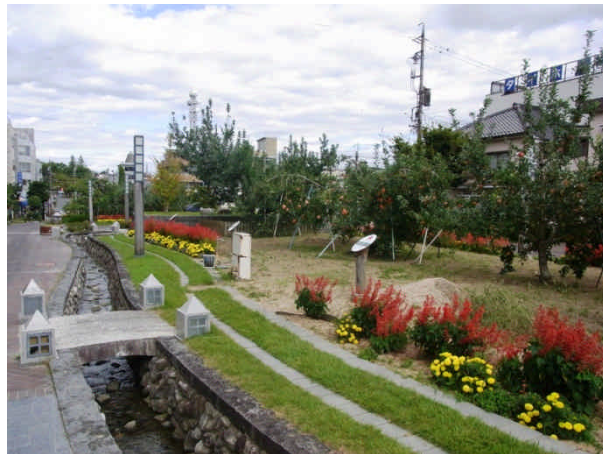
飯田市公民館 学習支援係
社会教育コーディネーター 熊谷 文世

飯田市の概要

○面 積	658.73km ²
○人 口 (H25. 10. 30)	105,593人
○世帯数 (H25. 10. 30)	39,159世帯
○標高 (市役所)	499.02m
○日照時間 (2010年)	1,946.7時間
○森林面積 (割合)	全市域の84.6%



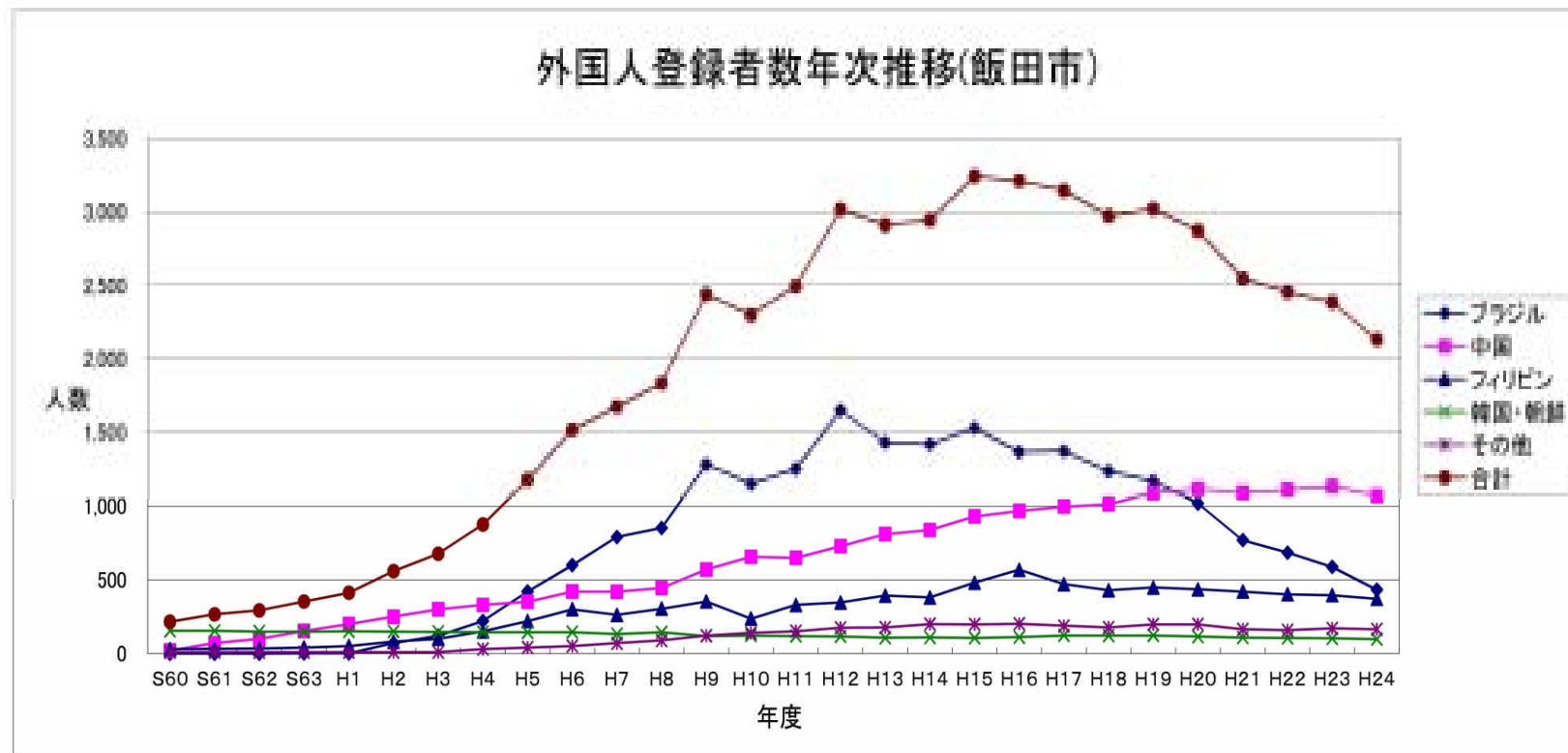
りんご並木 と 人形劇のまち



飯田市における外国人の割合

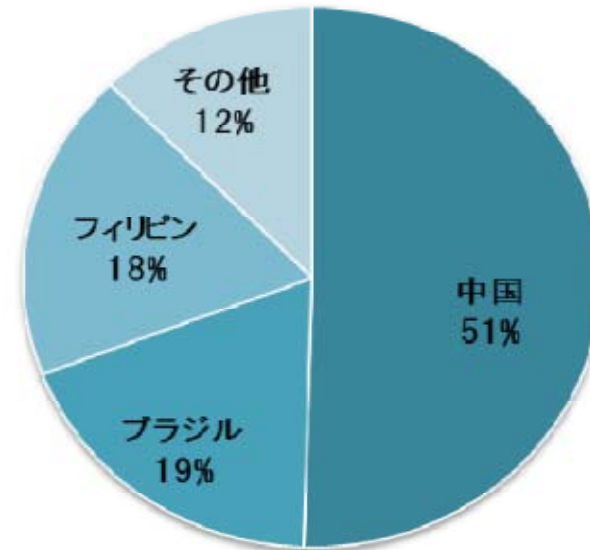
総人口 : 105,593人
外国人住民 : 2,042人

1.9%



飯田市における外国人の内訳

国籍・地域	住民数(人)
中国	1,031
ブラジル	382
フィリピン	377
その他	252
合計	2,042



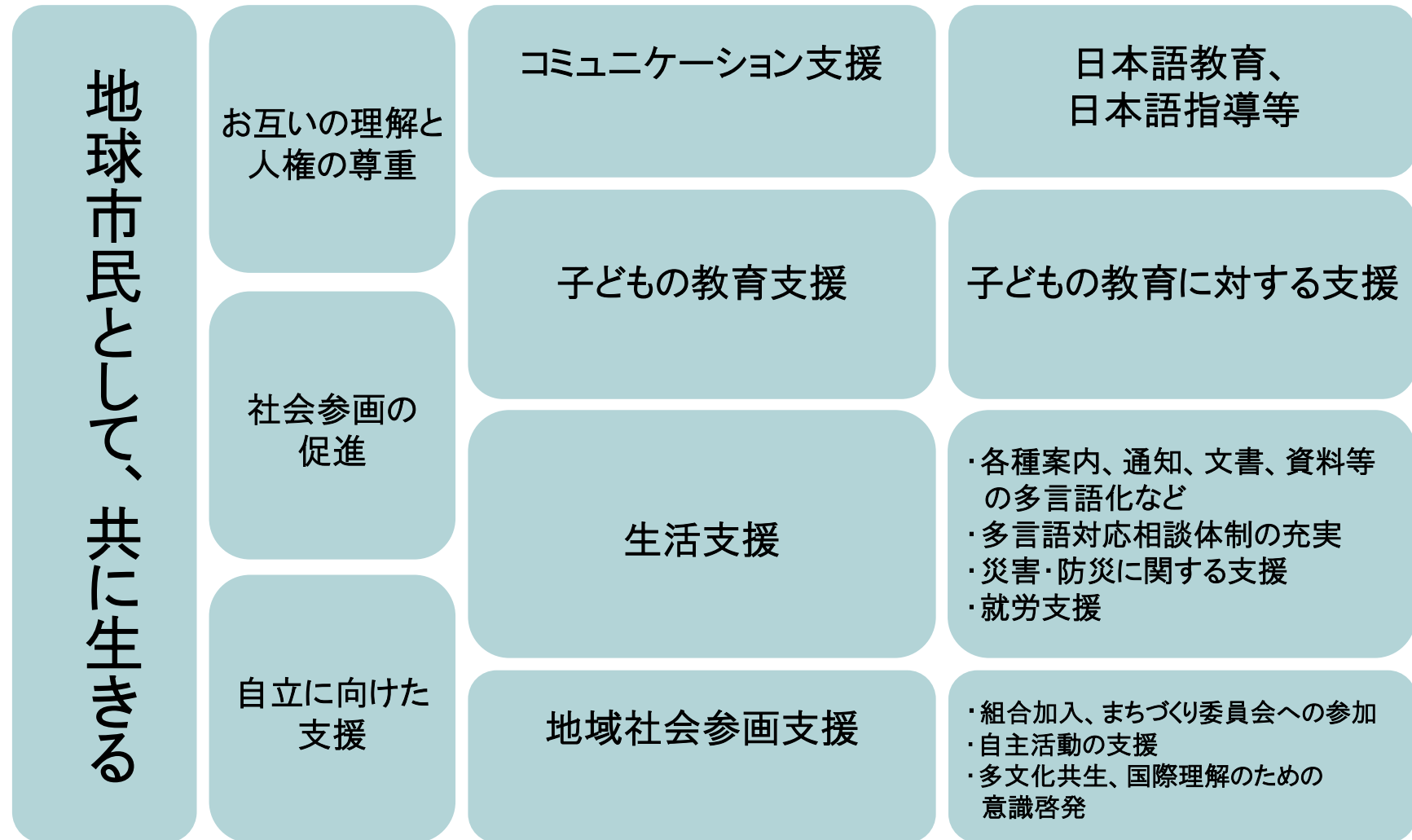
在留資格別外国人登録者数(人)									
永住者	定住者	日本人 配偶者等	永住者 配偶者等	技能実習	特別永住者	家族滞在	技能	その他	合計
1,062	339	223	53	184	73	51	30	27	2,042

定住率：およそ9割

飯田市の多文化共生社会推進施策

- ◆基本方針 地育力によるこころ豊かな人づくり
- ◆施策 共に歩む社会づくりの推進
- ◆基本理念 地球市民として、共に生きる
- ◆めざす地域像 多様性を活かし ともにつくる
結いのまち いいだ

飯田市多文化共生社会推進計画体系図



多文化共生社会推進における現状

目指す姿

その地域に住む全ての人が
お互いを尊重し協力し合う社会



地域に住む日本人も外国人も
地域の一員として尊重し協力し合う社会

現 状

地域の中で日本人と外国人に距離がある

原因は？

多文化共生社会推進の壁

文化・生活習慣等の差違
言葉の違い 等々

知識・情報



日本人・外国人の住民が話し交わること
一緒に何かをしてみる 等々

経験・意識

(学ぶ人が主体的に関わる仕組みやそこに暮らす住民の協力が必要不可欠)

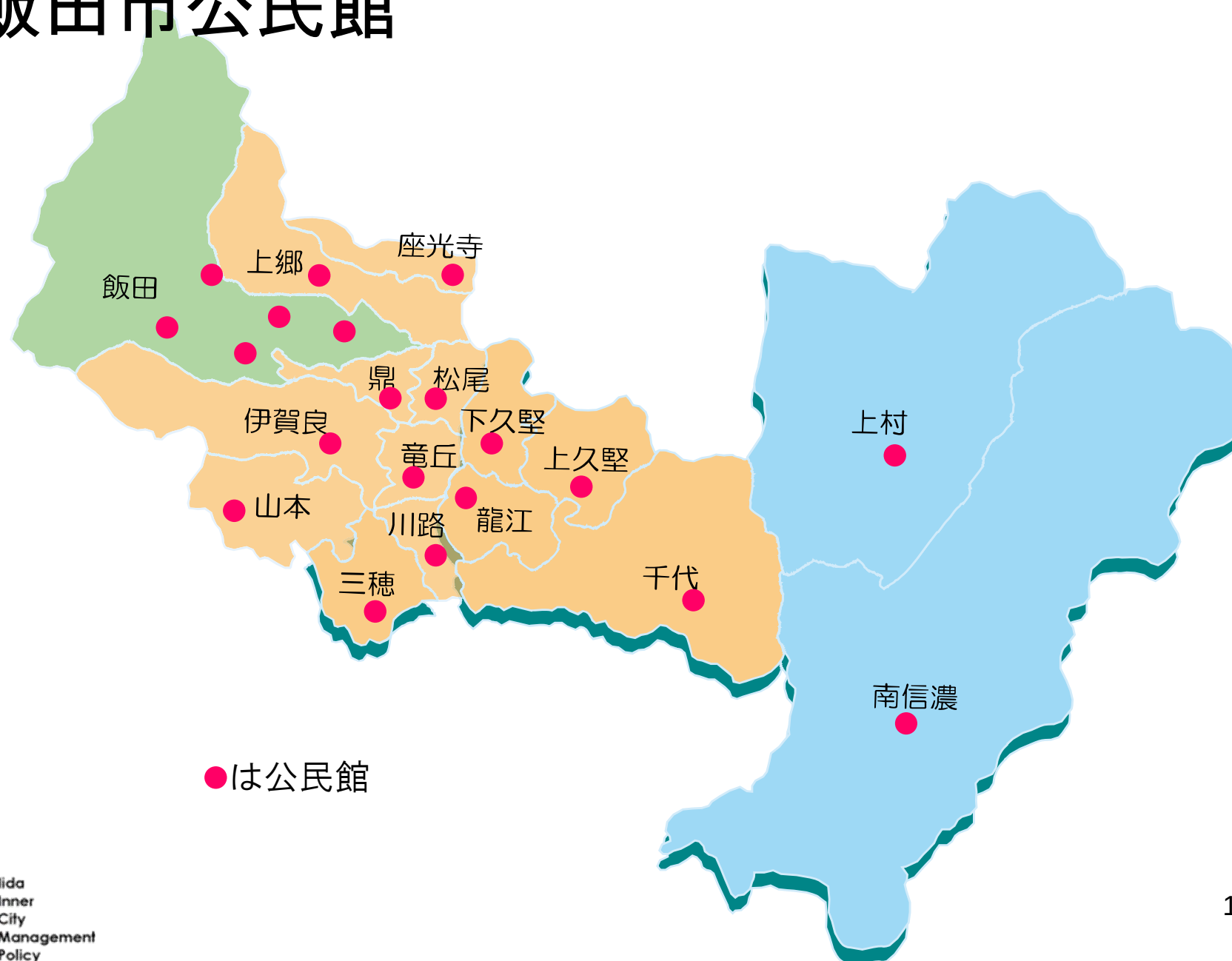


双方を含む取組が必要

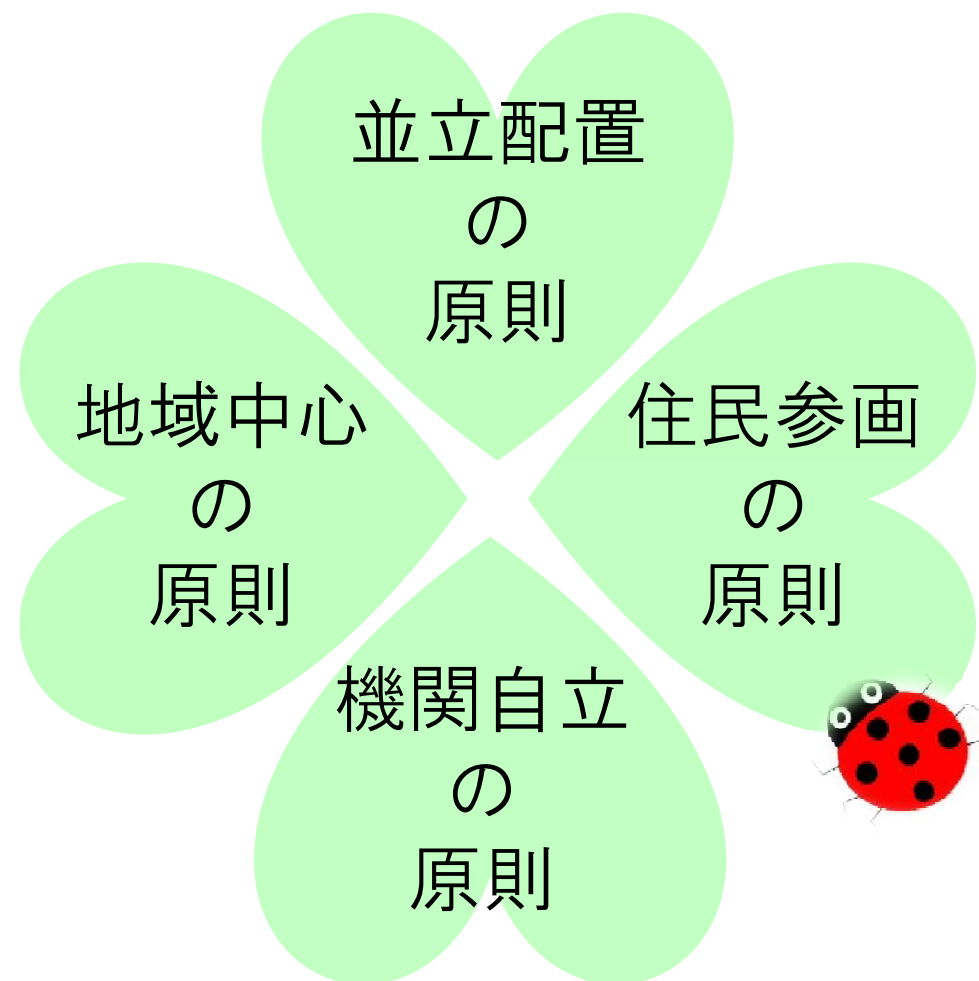
壁を乗り越えるための手段

飯田には公民館がある

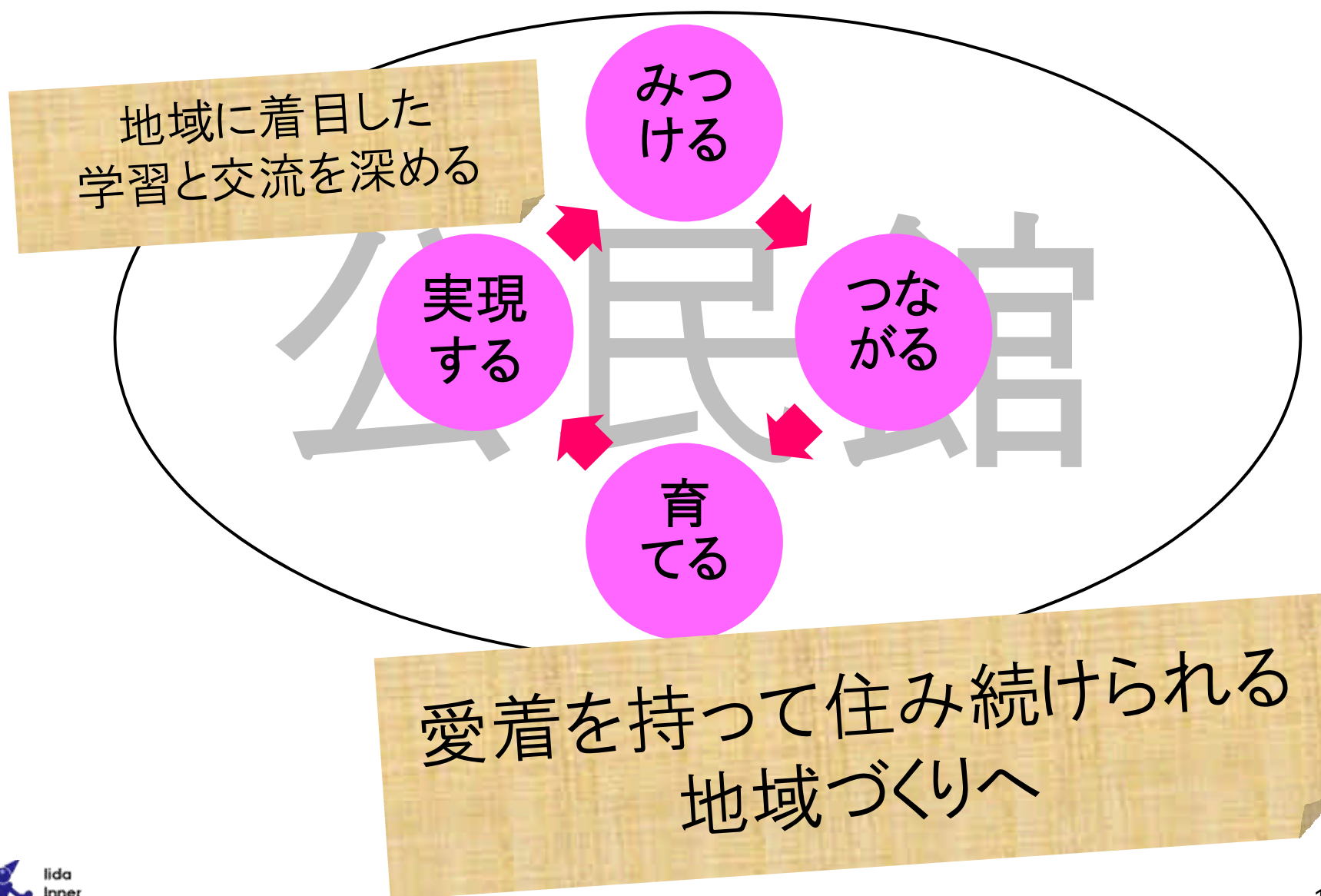
飯田市公民館



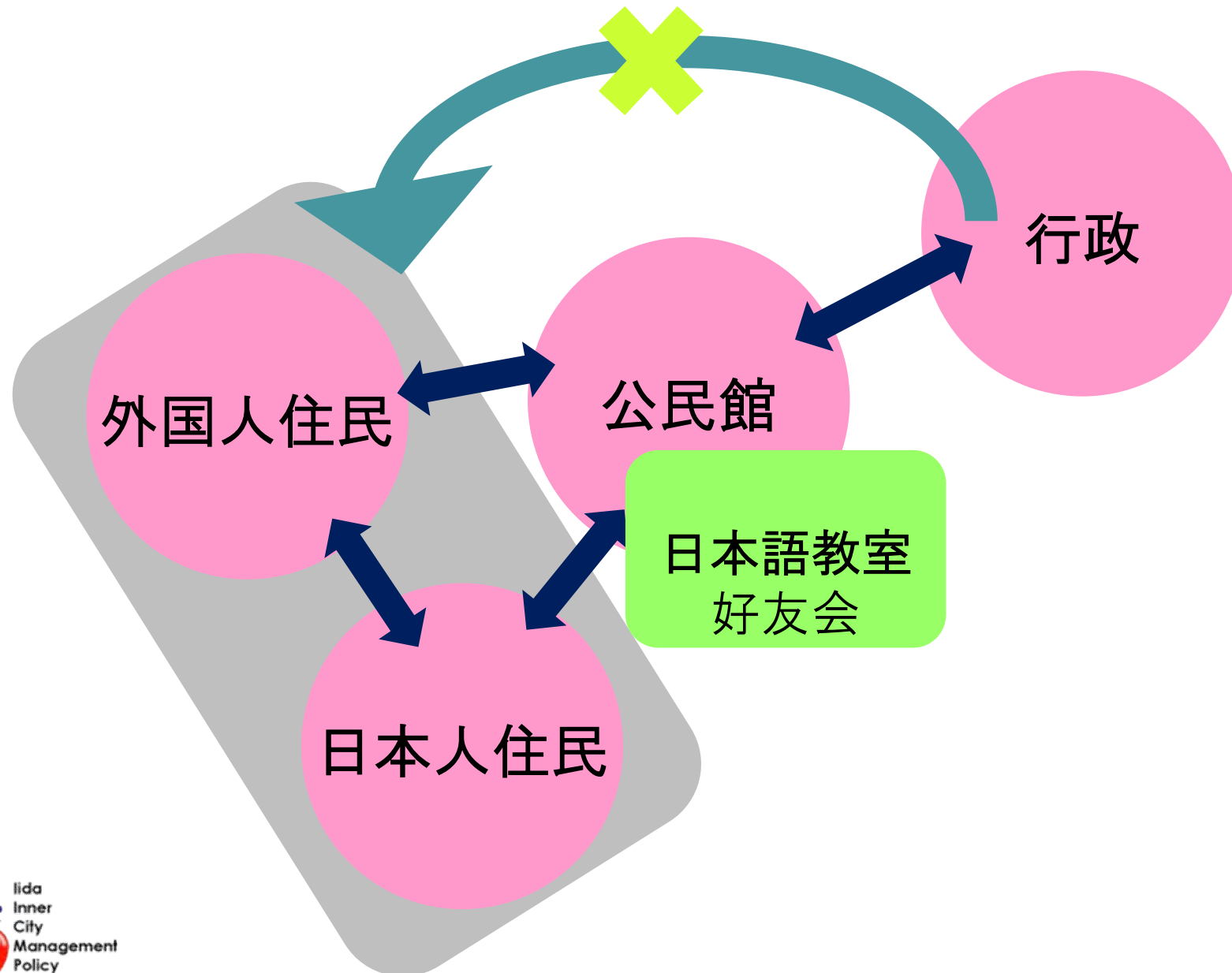
飯田市公民館の運営原則



飯田市公民館の役割



公民館のしくみから生まれた日本語教室



飯田市公民館独自の日本語教育推進事業

飯田市公民館
わいわいサロン

- ★平成9年～
- ★毎週木曜10:00～12:00
- ★有志ボランティア6名
- ★対話型

😊 好きなときに行ける

😞 平日昼間働いている人は
参加できない



日本語教室と地域の現状と課題

既存の日本語教室

飯田市公民館
わいわいサロン

竜丘公民館
好友会

民間団体
和楽

中国帰国者支援
松尾常盤台

- 教室の数に限りがある
- 車がないと通いづらい
- 大学・日本語学校がない
- 学習者が集まらない
- 外国人・日本人の間でトラブルがある
- 外国人の地域活動の参画が少ない

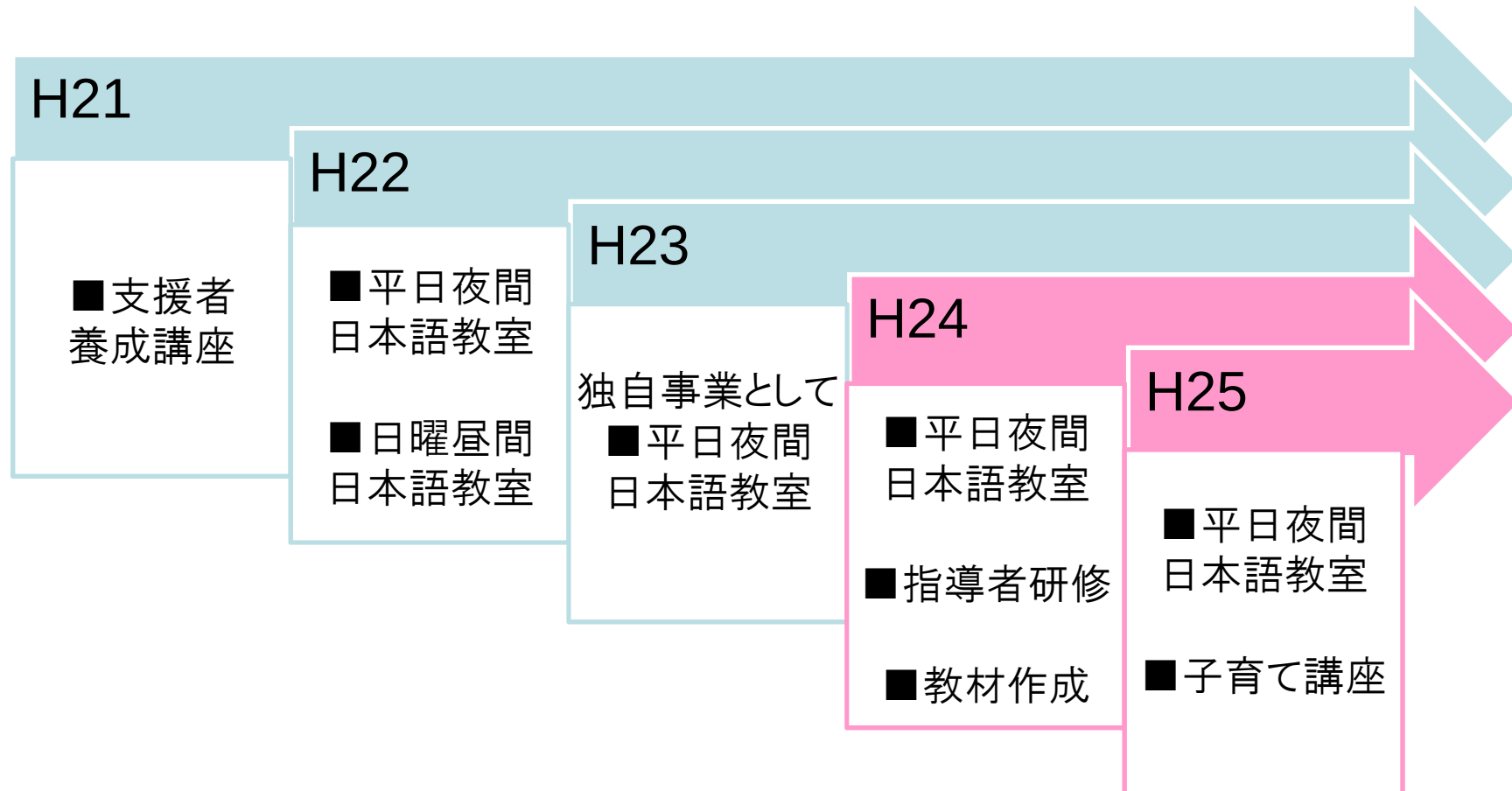
課題解決のための文化庁委託事業

日本語支援者を養成する！

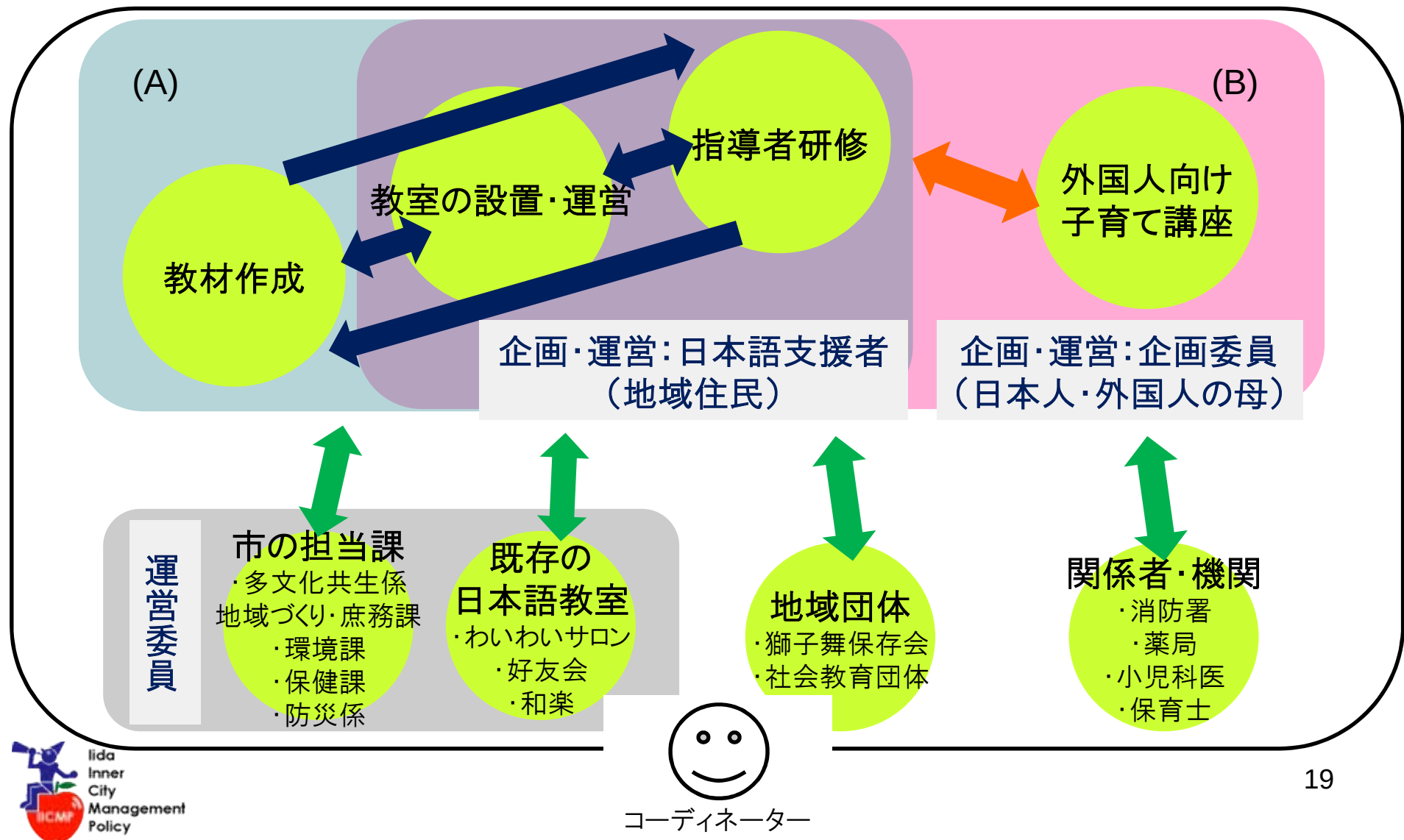
日本語教室の数を増やす！

外国人の地域参画を促す！

文化庁委託事業にまつわる 5年間の取り組み



地域日本語教育実践プログラムを活用した 日本語教育推進事業 実施体制



コーディネーターの役割

◆プログラムコーディネーター 1名

飯田市で10年以上多文化共生事業に従事するキーパーソン。
日本語講師。

学習テーマの選定やゲスト講師との打ち合わせ 等
講座内容の組み立て全般

◆社会教育コーディネーター 1名 (システムコーディネーター)

飯田市公民館 学習支援係

行政の担当課、各関係機関とのつなぎ。広報活動 等
事業全体の統括

夜間日本語教室 「わいわいサロンⅡ」

平成24年度
“地域との協働” 第1弾



指導者研修

教室の設置・運営



教材作成



夜間日本語教室 「わいわいサロンⅡ」

平成24年度
“地域との協働” 第1弾



救急法を学ぼう

関係者・機関

・消防署
・薬局



薬局で薬を買えるようになろう



緊急通報の練習をしてみよう

夜間日本語教室 「わいわいサロンⅡ」

平成25年度
“地域との協働” 第2弾

地域団体
・獅子舞保存会



獅子舞の練習見学

市の連携課
地域づくり・庶務課
・環境課



ゴミ分別のルールを学ぼう



自治会って何？

子育て講座 「子育てとにほんご」

平成25年度
“地域との協働” 第2弾

市の連携課
・保健課



子どもの予防接種について

企画委員
日本人・外国人の
母親



関係者・機関
・保育士



保育園生活について

成果

◆学習者のみならず、
指導者や講師にとっても学習の機会と
なっている

「子育てとにほんご」 企画委員より

「こんなに多くの国
籍の人と一緒に住ん
でいたんだ！」とい
う新発見があった。
日本出身

どこの国でもお母さ
んが「子どものために
何かしてあげたい」と
思う気持ちは一緒な
んだとわかった。
韓国出身

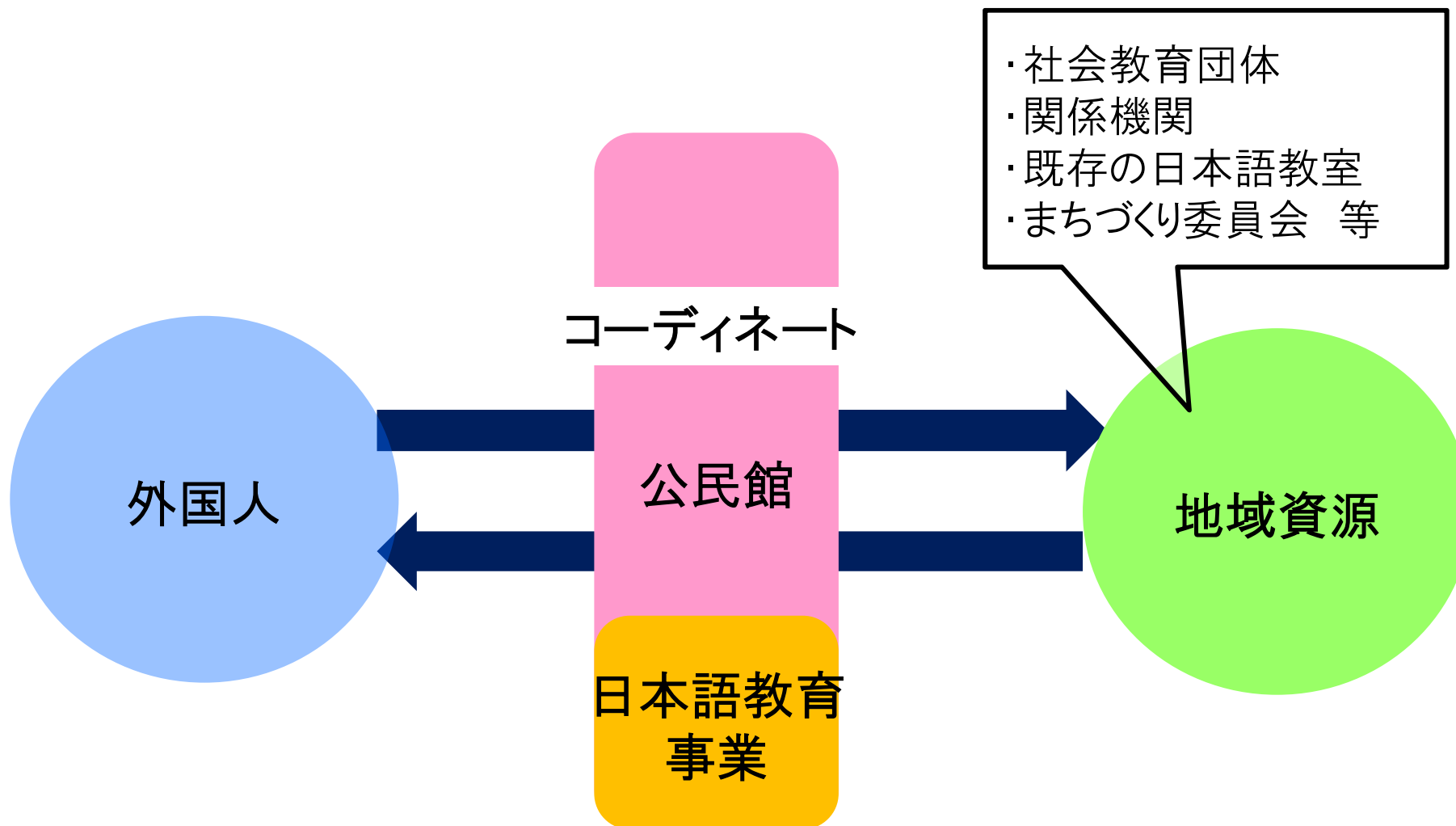
子育ての悩みは、一
人で悩むのではなく、
誰かに相談すれば解
決できることを知った。
ベトナム出身

国を越えて母親の気
持ちを共有すること
ができた。
日本出身

成果

◆公民館を拠点に日本語教室を地域で
支える体制の基礎ができた

公民館を拠点とした地域日本語教育 体制



外国人が地域とつながる！

外国人集住地区の公民館を 拠点とした地域日本語教育の体制整備へ



今後は

- ◆外国人集住地区の公民館で
日本語教育事業を実施
- ◆外国人住民による地域活動参画の促進
- ◆多文化共生社会に向けた
日本人住民の共通理解の促進

目指す地域像

外国人と日本人がともに
地域活動に参画できるようになる

外国人住民が地域の
担い手となり地域を元気にする！

課題

- ◆日本語指導者の養成
- ◆日本語教育事業に関する広報活動
- ◆学習者のニーズの見直し

ご清聴ありがとうございました

